

# のうきよう ちがしべつ



中標津町武佐・土井上一氏撮影

'95 1

No. 241

謹賀新年

希冀に満ちた新春を

お迎えるの事と存じます

本年も相変わります

まことにお願い申し上げます

平成七年元旦



もくじ

- 3~5 — 年頭のごあいさつ
- 8~10 — 亥年生まれ特集
- 11 — 〈わが家の人気者〉  
大きくなったら看護婦さんになるの  
北川陽菜ちゃん(5歳)
- 12 — ヨーロッパ視察研修報告  
協和 花川昌典さん
- 13 — 〈新婚さんこんにちは〉  
清原孝志・朱美さん
- 14 — 第43回全道JA青年部大会
- 16 — 根釧合同JA女性、婦人部研修会
- 17 — 地区別懇談会開催される
- 18~19 — 今月のフォトアルバム
- 20 — 12月の組合日誌

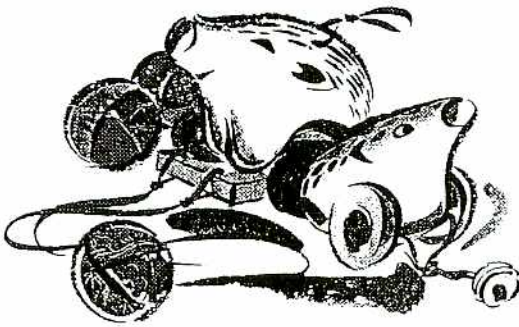
# 新春も寿ぎ

皆様へのお慶いあし

串——上げます

皆様様の御健康と御多幸を  
心からお祈り申し上げます

平成七年 元旦



## 中標津町農業協同組合

代表理事組合長	三友盛行
副組合長理事	鈴木祥幹
生産委員長理事	竹下日吉
管理購買委員長理事	中浦健雄
営農委員長理事	上村重光
理 事	鷲見孝
“	太田功
“	土井信一
“	佐藤 哲
“	中司 哲
“	高橋勝義
代表 監事	渡辺善行
“	太田直行
監 事	藤井美智夫



# 夢、幸せは実生活の足元に

中標津町農業協同組合代表理事組合長 三友 盛行

新年あけましておめでとうござ  
います。

旧年中は組合員の皆様、職員、  
関係団体の各位に未熟な組合長と  
いうことで大変ご迷惑をおかけし  
ました。

また、皆様のご厚意に支えられ  
て、一年を漸く過ごすことが出来  
ましたことを、感謝してお礼申し  
上げます。

振り返ってみますと、昨年は生  
産調整の二年目を迎えて多難な一  
年のスタートでした。春は順調で  
したが、かつてない猛暑の夏、秋  
の長雨、十月の東方沖の大地震と  
予測の出来ない一年でした。

反面、飲用乳の需要拡大なども  
あり生産の環境が若干好転しまし  
た。

また馬鈴しょは平年並み、ビー  
トは低糖分でしたが史上最高の収  
量となり、終ってみれば不可中庸

の一年でした。

農協運営ではフーズの再建五カ  
年計画を樹てて、第一年目を踏み  
出しました。二年目につながる様  
努力しております。

また賛否のありました、乳製品  
工場も完成して「ケフィアオーレ」  
の製造販売にも着手をさせていた  
だきました。

農協経営は農家経済の影響を受  
け例年にならない状態です。

今年、農家経営と農協運営の  
一層の健全化のため、徴力を尽く  
すつもりでありますので旧年に劣  
らず、ご理解とご支援をお願い致  
します。

今年の大きな目標に、女性の経  
営への参画（参加ではない）と、  
家庭の幸せについて取り上げたい  
と思っています。

昨年の十一月末に開催された、  
鉦根婦人部大会にパネラーとして

出席しました。そのおり、女性の  
夢を聞き、その実現こそが今年に  
課せられた大きな目標だと痛切に  
感じました。

女性の夢は決して大きく、遠く  
実現しづらいものではなく、ささ  
やかなものでした。

経済よりも、ほんの少しの時間  
であり、「ゆとりある農家生活」の  
実現でした。

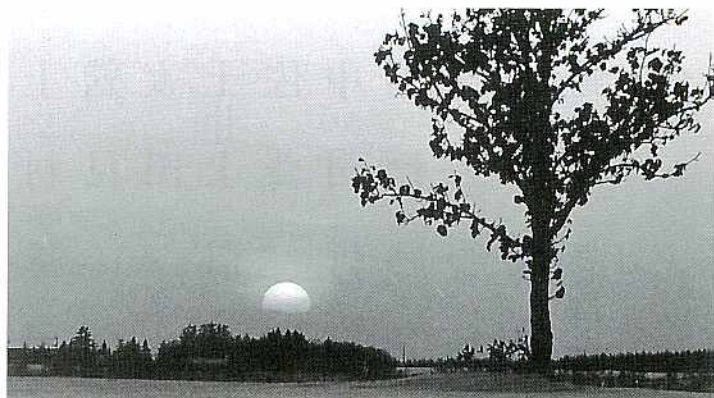
しかし、男性は生産を増やし、  
経営の安定と経済の豊かさが家族  
の幸せの実現の道と励んできました。  
互いに家族の幸せを願いがな  
ら一致していない様です。

アンケートによると、家事労働  
を含む一日の総労働時間は、女性  
の方が経営主と同じか、より長い  
の両方で七五%になっています。

農作業に女性の協力を得ている  
わけですから、男性も家事に協力  
することも大切な事です。

私も省りみれば全くの失格亭主  
です。今年こそは家事に協力する  
男性に変身する決意です。

家庭の幸せや、女性の願いは決  
して遠くて実現不可能なことでは  
ありません。夢や幸せは我々の実  
生活の足元にある様な気がします。  
その実現のために、今一番必要  
なのは男性の意識改革ではないで  
しょうか。





# 豊かな北海道づくりを

北海道農業協同組合中央会会長 阿部 忠男

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年の北海道農業は、一部の地域で長雨と台風による生育の被害、そして、「北海道東方沖地震」の災害に見舞われるなど、誠に残念な状況にありましたが、総じて、農家組合員のご努力により、平年作を確保することができましたことは、農業に携わるものにとって、安心をいたした年でありました。

まずは、今年の豊穰を、心からお祈り申し上げる次第であります。さて、農業は国際化・自由化が一段と進行する厳しい環境にあつて、一昨年、政府のガット農業合意の受け入れは、わが国農業はもろろんのこと、主業農家が主体である北海道農業への影響は計り知れないものがあり、JAグループといたしましては、この合意にはあくまで反対の姿勢を堅持したうえで、国の責任において将来展望

を切り拓くための農業政策の構築を強く政府に対し求めてきたところであります。このため、政府は、昨年八月に戦後農政の大変革を迫る農政審議会の報告が行われ、さらには、国内農業対策として、今後、六年間における財政措置を決定いたしました。しかしながら、将来への不安が全て取り払われたものではなく、未だ、多くの課題が山積いたしております。まさに、本年が農業・農村の確立にとつて最も重要な年であり、引き続き、政府等関係機関に対し、わが国の食料問題をはじめ、農業・農村を守るため、JAグループの総力を結集して運動を展開していく所存であります。昨年、私たちは、二十一世紀に向けて日本の食料基地として地域農業をたくましく発展させ、効率的生産体制の再構築と農業・農村の多面的な機能を創造するため、「ほっかいどう新農業構

想」を設定し実践することを、第二十一回のJA北海道大会を開催して決議をいたしました。食料の自給と安定確保は、国益上の最優先政策であるとの強い認識にたち、JAグループとしても、北海道農業の持つ大規模・高生産性を生かした、安全でおいしく、高品質な農畜産物を安定的に供給し、名実ともに日本の食料供給の基地として、その使命を果たすことが重要であり、まさに、その真価を問われようといったしております。このため、本年は、その実践の第一年目であり、北海道農業・JAが重大な転換期にあることを強く認識し、その実践に向け、組織の総力をあげて取り組むとともに、具体的な政策の確立に努めてまいりる決意であります。恵まれた自然とゆとりある空間、そして、限らない可能性を秘めた北海道を築くため、私たちは、地域社会とのつながりを、より一

層強めていくことが大切であり、さらには、農業の持つ国土・環境保全についての役割を道民各層に十分認識してもらおう取り組みをJAグループあげて展開することが重要であります。

年頭にあたり、素晴らしい資源、恵まれた条件を生かした豊かな北海道づくりにJAグループの総力を傾注したいと決意をあらたにする次第であります。本年が希望と明るさの持てる実り多い豊かな年であり、ますます心からお祈り申し上げます。





北根室地区農業改良普及センター所長 石井 英次

## 地域の可能性を最大限に活用

輝かしい平成七年の新春を迎え、心から慶びを申し上げます。

昨年は予期せぬ大地震で、営農施設などに被災された皆様に関心からお見舞いを申し上げます。

前年の冷夏に比べて、戦後最高の猛暑の記録といわれ、根室地方にあっても三〇度以上の真夏日が六日間も続き、観測史上最高の暑さの年でありました。

この猛暑が幸いにして、各作物共に順調な生育経過で、収量、品質においても、平年作以上の作物でありました。また、牧草の収穫

期は天候に恵まれて、良質粗飼料が確保されましたことは、生産各位のご努力の賜と存じ心から感謝と敬意を表します。

さて、最近の酪農情勢は、生産抑制、乳価の値下がり、個体価格の低迷などによる収益性の低下、こうした中でガット・ウルグアイ・ラウンドの農業合意によって、農畜産物の自由化時代を迎えて、かつてない困難な時代を迎えることになりました。

このような情勢下で、国際化時代に備えた地域酪農を発展させる

ためには、地域のもつ可能性を最大限に活用し、生産技術の見直しを含めた現状分析を行ない、問題点を整理し、経営者自らが創意工夫を生かして、誠意努力すること

が経営を発展するものと信じます。地域の牛乳生産計画は、着実に実践されておりますが、乳質においては、皆様方の日頃のご努力の悔もなく、酪農主産地として一層の改善を要する課題であります。

国際化時代に向けて、乳製品の増加が懸念する中で、主産地競争に勝ちうるためには、安全、良質な牛乳、乳製品の安定的な生産供給体制を強化しなければなりません。更に効果的な生産体制を確立し、可能な限り生産コストの引き下げ課題であります。

更に、ゆとりある経営の確立のため、労働生産性の向上や外部労働力を活用して行くなどで、過重ととなっている家族労働時間をできるだけ短縮しなければなりません。この様な時に普及事業として、この実現に向けて、農業者の皆様と共に、更に、関係機関と連携を図りながら、普及指導活動を推進して参ります。

この度、農業改良普及所の名称が、農業改良助長法の改正に伴い「農業改良普及センター」に変更になりましたのでお知らせ致します。職員一同、心新にして普及指導活動に頑張つて参ります。今後共になお一層のご支援を心よりお願い申し上げます。皆様の方々の健康とご多幸を祈念し年頭のご挨拶と致します。



中標津町農協青年部部长 飯島 浩

## 今こそ部員力を結集しよう

新年あけましておめでとうございます。部員の皆さんには、日頃

より青年部活動に参加協力を頂きます。心よりお礼申し上げます。

昨年は夏の猛暑、十月には東方正沖地震が大きな被害をもたらした。経営に多大な負担を与えました。また、今年度も個体価格の低迷、生産調整の続く中、ガット・ウルグアイ・ラウンド批准が不透明なまま、依然として厳しい農業情



勢ですが、今こそ部員一人ひとりの若い力と情熱が必要なきです。

自分の経営はもちろんのこと、次代の農協を背負う若者として、今から青年部活動を通して年代や地区を越えた人々との交流や、さまざまな情報交換、その積み重ねにより、更に組織のあり方や組織の中で、自分の果たす役割などを学んでほしいのです。それが後に自分の財産になり、経営の励みにもなると思います。新年を迎え新た

な気持ちで共に活動していきましよう。

近年、町づくりや環境整備、道立広域公園、開町五十周年記念行事など農協青年部からの意見、要望を問われる機会がふえています。町の基幹産業を担う若者として、自分たちのことだけ考えていられない時代から、広い視野で物事を見つめ、自分たちの意見を持って発言していく時です。そのためにも部員一人ひとりの若い力と情熱

が必要なのです。

「今こそ部員の力を結集しよう」  
激しい農業情勢の中、JA、JA婦人部と連携をとりながら、青年部らしい事業の展開を目指し、皆さんの協力をよろしくお願いいたします。

最後に新春を迎え、皆様方にとって最良の年でありますようにご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

## 自然の農業を今一度振り返って



中標津町農協婦人部部长 横田 純子

皆様、あけましておめでとうございます。

平成七年の新春をご家族お揃いで、晴れやかに迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

昨年は北海道でも過去の記録にない程の暑い夏で、農作物の豊作かと思いきや、震度六の大地震があり、一昨年の冷災害から一転

して猛暑となるなど、自然の力の恐ろしさをまざまざと見せつけられた年でした。ある方の著書に農

村に心惹かれる理由の一つに、そこが長い時間、私達の精神が依って来た魂の様なもの、未だ備えてた心の安らぐ宇宙を感じさせてくれる点である。農業とは、天地自然の理に継順でなければならぬ

産業であり、天候不順や冷災害などに打つ手なし、といった宿命はまだその営みの大部分が自然の摂理に支配され、自然とのつきあいをもっと大事にする産業といっても良いだろうと！

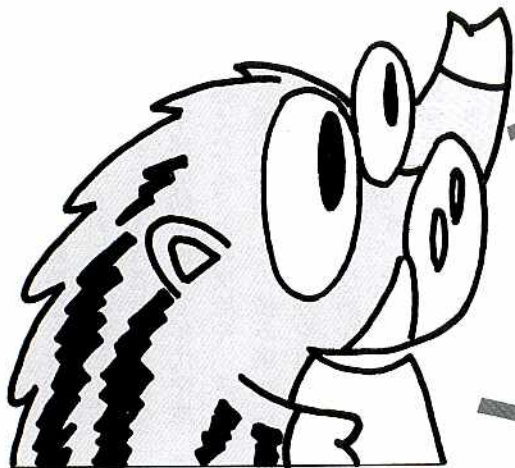
農業があまりにも経済追求型になりすぎてしまったのかもしれない。鳥の声を聞き、空の雲を眺め、のんびり歩きながら一度振り返ってみる時なのかもしれない。今、農村女性パワーへの期待が広がって来ている。女性の役割が正当に評価され、経営の担い手、魅力あ

る生活づくりの担い手として、女性自身が頑張る時です。

そのために必要な感性を磨き、自分に出来る役割りをしっかり発揮して行きたいものです。

心あらたに、家族の健康と農業の新しい幕あけになることを祈って、新春の挨拶といたします。





ぼくも私

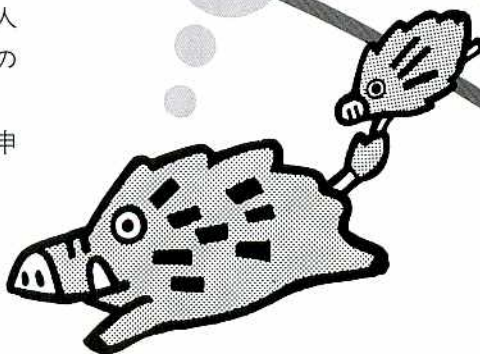
お父さん  
お母さん

おじいちゃん  
おばあちゃん

# 亥年生まれの 仲間だよ～!

今年の干支、亥年生まれのみなさん75人の中から、一家族2人以上の亥年生まれの方に登場していただきました。

今年も良い年でありますようにお祈り申し上げます。



- ①生年月日
- ②今年の抱負



俵橋地区  
 亀代富江さん  
 ①昭和二十二年十月二十七日  
 ②昨年よりは良い年でありたいと願っています。  
 亀代潤一さん  
 ①昭和四十六年十二月二日  
 ②今年の一つでも多く仕事を覚えて頑張りたい。

東俣落地区  
 遠藤初子さん  
 ①昭和二十二年二月一日  
 ②今年も家族健康で頑張ります。  
 遠藤広幸さん  
 昭和五十八年九月二日  
 ②勉強、遊びと頑張るぞ!

東俣落地区  
 遠藤サトさん  
 ①大正十二年十月一日  
 ②踊りは健康の素、いつまでも楽しく。  
 遠藤幸吉さん  
 ①大正十二年七月二日  
 ②旅行、ゲートボールなど人生をのんびりと楽しみたい。  
 遠藤樹里さん  
 ①昭和五十八年三月十一日  
 ②剣道初段を目指し頑張りたい。





南俵橋地区

小岩花子さん

- ① 昭和二十二年六月二十九日
- ② 経営の安定を目指し、少しでも楽になりたい。

小岩セツさん

- ① 明治四十四年六月十九日
- ② 毎日二歳の散歩はかかさずに、健康を保ち頑張りたい。



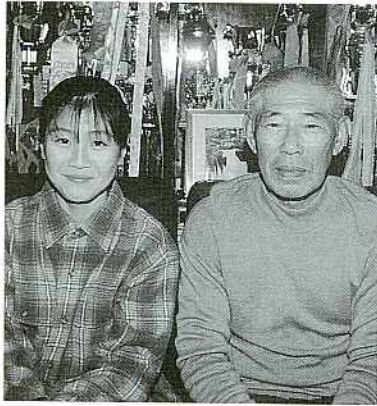
共成地区

桜井義雄さん

- ① 昭和十年七月十二日
- ② 毎日、毎日が健康でありたい。

桜井千賀子さん

- ① 昭和十年十月二十日
- ② 健康で頑張りたい。



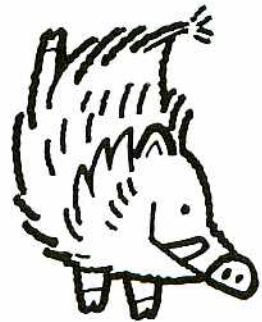
俵橋地区

佐々木文作さん

- ① 大正十二年十月二十五日
- ② 事故なく怪我なく老後はのんびりと！

佐々木恵さん

- ① 昭和五十八年一月十九日
- ② 中学へ行ってもバレーに勉強がんばる。



南俵橋地区

佐々木美恵子さん

- ① 昭和二十二年七月二十日
- ② 家族の健康と牛の健康のためにまだまだがんばらなくちゃ。

佐々木雅代さん

- ① 昭和五十八年九月二十日
- ② バレーボールがんばる。



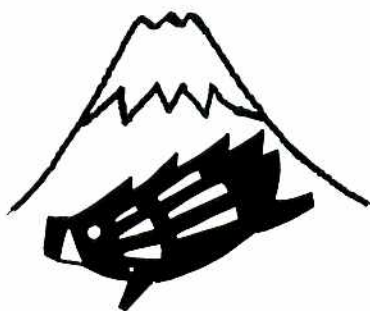
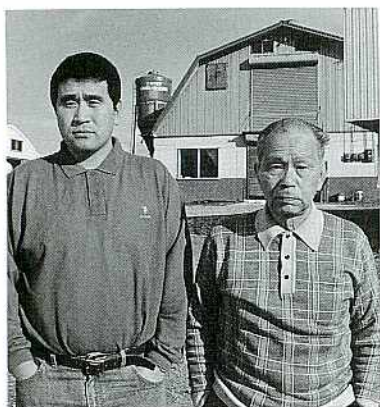
西武佐地区

佐藤みさ子さん

- ① 大正十二年一月二十九日
- ② 孫たちの弁当作りに今年も頑張ります。

佐藤桂子さん

- ① 昭和二十二年十一月四日
- ② 皆んな元気で楽農に向けて頑張りたい。



- 西当幌地区  
高橋常治さん
- 1 大正十二年一月二十二日
  - 2 健康でありたい。
- 高橋孝司さん
- 1 昭和三十四年十月八日
  - 2 今年住宅を新築する。嫁さん  
もほしいなあ。

- 元開陽地区  
鈴木修さん
- 1 昭和二十二年一月二日
  - 2 マイペースを基本に頑張りたい。
- 鈴木重蔵さん
- 1 明治四十四年十月六日
  - 2 今年で七回目の干支、地域の仲間と楽しく健康で。



- 北武佐地区  
三宅久子さん
- 1 昭和十年一月十五日
  - 2 健康で明るい家庭でありたい。
- 三宅和雄さん
- 1 昭和三十四年三月十八日
  - 2 ?
- 三宅洋子さん
- 1 昭和三十四年四月二日
  - 2 コミュニケーションのたくさんある家庭にしたい。

- 北開陽地区  
三輪悦子さん
- 1 昭和十年二月七日
  - 2 健康で家族皆さんで頑張りたい。
- 三輪哲郎さん
- 1 昭和四十六年二月二十八日
  - 2 今年こそは、ゆとりある生活を!

- 拓農地区  
長渕宇田子さん
- 1 昭和三十四年三月三十一日
  - 2 子供たち家族が全員元気で。
- 長渕麻紀さん
- 1 昭和五十八年九月五日
  - 2 去年はクッキーを作りました。今年ケーキ作りに挑戦します。

# わが家の人気者

大きくなったら看護婦さんになるの



俵中地区 北川誠治・朋子さんご夫妻

長女 <sup>はるな</sup>陽菜ちゃん(5歳)

あけましておめでとうございませす。今年も我が家の人気者シリーズ張りきってご紹介していきますので、よろしくお願いいたします。さて、今年最初にご紹介するのは、カワイイ目をパチクリさせながら一生懸命お話ししてくれる、北川さん宅の陽菜ちゃん。保育所のお友達の話や、かわいくて仕方ないという妹の紗綾ちゃん(一歳



歌もとっても上手なのです

ぱりお姉ちゃん。でも前に「紗綾をおなかの中にしまっちゃって」なんていった事もあるそう。その半面、妹をよその家にあげちゃうよという「ヤダ！」とムキになる陽菜ちゃん。「男の子の兄弟がで



本を読む事が大好きで、図書館へ行くのが楽しみな陽菜ちゃん

十カ月)の事など、楽しそうにおしゃべりしてくれます。「陽菜の話しはなかなか止まらないのよ」なんて、お母さんも笑います。カワイイ盛りの二人でも、ケンカになると、ガマン強いのはやつ

きたら、紗綾をいじめるからいらぬ」と、お姉ちゃんぶりは、とても立派なのです。

最近、お母さんのお手伝いもしっかり出来て、ギョウザを作るのはとっても上手だとか。お父さんがごはんを食べる時に、だんごりをするのもお手のものです。女の子らしい面もどんどんできて、成長ぶりはこれからも楽しみです。

将来は、看護婦さんになって、悪い人がきたら、セーラームーンに変身し、退治をするという楽しい夢を持っている陽菜ちゃん。お母さんの願い通り、健康でやさしく元気に育って下さいね。

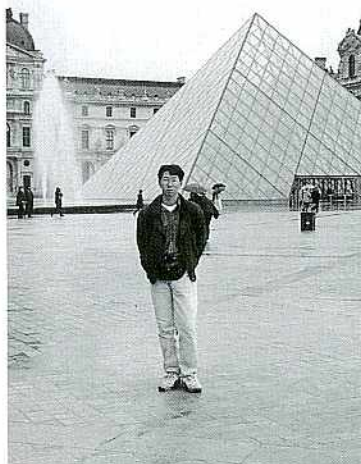


かわいい紗綾ちゃんと仲良しポーズ

# 目に焼きつくスイスの山々

ふるさと創生事業  
ヨーロッパ視察に  
参加して

協和 花川 昌典



ルーブル美術館、正面入口

中標津町「ふるさと創生海外派遣事業」に参加し、十月二十五日から十一月七日までの二週間、ドイツ、スイス、オランダ、フランスの四カ国を視察してきました。

良い天気の日二十五日、開西新空港からドイツフットハンザ航空七四三便に乗り、ドイツフランクフルト空港へ向かった。

約半日後、ドイツへ無事到着。

ドイツでは地方を中心に視察、ハイデンブルク、古城街道、フォルツハイム、ここでは河川の再自然化についての視察、バーデンバーデン、フライブルク、最後にサスバッハベルデンで農家民宿に泊ま

りました。

ドイツは、歴史のある建物には条例で厳しく規制され保護されていた。この後、バスでスイスへ向かう。

スイスでは、登山列車でユングフラウへ、添乗員も驚くほどの良い天気でも暖かかった。青空のもとでの山々は美しく、私の目に焼きついています。

スイスのチューリッヒから空路オランダ、アムステルダムへ。ここでは、ウエストランド野菜市場の視察、世界一規模の市場であり、下げセリが行なわれていた。アムステルダム駅から列車でフランスパリへ。パリ市郊外のエブリイ市の視

察、ここは、パリ市周辺の過密化を緩和するために計画的に造成された都市との事。その後パリ市内の観光、オペラ座、凱旋門、ノートルダム寺院、オルセー、ルーブル美術館、ベルサイユ宮殿など。特にオルセー、ルーブルの両美術館は深く印象に残りました。このように研修は終わり、十一月七日、成田に帰って来ました。

今回は、ヨーロッパの牧場を視察したのですが、スケジュールになく多少残念でした。初めてのヨーロッパでしたが、本当に遠いと思いました。しかし同時にヨーロッパは狭いと感じました。

あと、片ことの英語が通じないので多少不便を感じました。

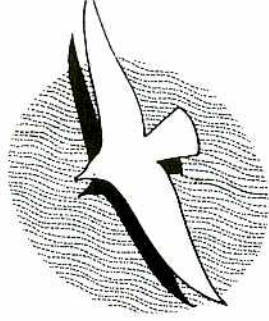
簡単ですが最後に二週間ものヨーロッパ研修に参加出来た事をうれしく思い、また、関係者の皆さんに大変感謝しています。



スイス登山列車からのすばらしいながめ



スイス、納屋と住宅がくっついている



# 新婚さんこんにちは

背伸びを  
せずに  
マイペースで!

清原孝志さん(26歳)  
朱美さん(21歳)

旧姓・長正路  
西武佐・清原賢一さんの後継者



農業高校の学校祭へ遊びに行つた孝志さん。その時、学校の温室で花を売っていたのが朱美さん。

この時が二人の初めての出会いだったという。

その後、月日は流れ、4日クラブの活動をしてきた孝志さんは、友だちと

会員の歓誘に長正路さん宅に行き、クラブ員となった朱美さん。

その日をさかいに4日の活動を通しつき合う様になった二人は、十二月十日、中司哲雄

様ご夫妻のご媒妁によりハッピーウェディングを迎えた。

孝志さんは、西武佐地区で乳牛約百頭を飼養する清原賢一さんの後継者。一方の朱美さんも、南共栄地区で乳牛約百頭を飼養する長正路清さんの長女で、将来は酪農を目指していたという。

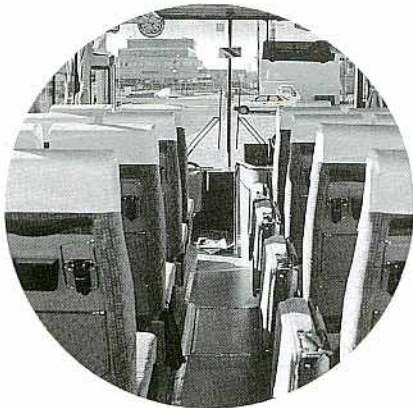
お互い酪農という職業では一致し、将来は、背伸びをせずに無理のかからない酪農に行きたいとの事で、相方百点満点で、望む事なしと熱あつぶりを披露してくれました。

設備も  
グループも  
充実

新車農協  
バス導入

購入以来十年を経過しておりました農協有バスが老朽化により、十二月三日、新車のバスが導入されました。導入されたバスは、イスズ「ジャーニーK号」で旧バスと同じ型ですが、リクライニングシートにコップ受け、エアコン、ボトルクーラーも装備された三十七人(補助席含め)乗り。外装は、白ボディに赤と紫色の縦ラインが入ったカラーリングです。

組合員皆さんの研修、旅行など有効利用されると共に末長いご愛顧をお願いします。



## 全道から盟友 600人が参加

第43回、全道JA青年部大会が、12月7、8日、「未来につなげよう食と農」をテーマに、札幌市、グリーンホテル札幌で開催されました。



牧場経営を目指すタレントの田中義剛さん

# 未来につなげよう 食と農

第43回 全道JA青年部大会開催



JA中標津から参加の高橋敏行さん、高橋正一さん

全道から青年部員はじめ、JA婦人部フレッシュユミセスや道商工青連、消費者、学生など約百人を含む六百人が参加、根室管内からは三十一人、JA中標津青年部からは三人が参加しました。

開会式では、JA道青協高谷勲会長があいさつ、「ガット農業合意にはあくまで反対する。国内農業対策でも将来の不安は払しょくできない。今後は、さまざまな人との対話を通して農業、農村の役割について国民的な合意形式に努めていきたい」と話しました。

続いて道農政部・村本進次長、JA道中央会、直宗治副会長、JA道婦協の大島久美子会長がそれぞれ来賓祝辞を行ないました。

その後、タレントの田中義剛氏が「俺等の時代」と題して講演が行なわれました。田中さんは、青森県出身で北海道酪農学園大学を卒業。現在は人気タレントとして活躍しているが、学生時代からの夢だった牧場経営を実現させるため、今年十勝の中札内村に二十畝の農地を取得。乳牛三頭からスタートし、ニュージールランドスタイルの牧場にする予定。「今農業では

環境問題が北海道の一番の課題、目に見えない細かな発想、たとえばストレスのない牛から搾った牛乳など、北海道農業の良さを伝える農業の広報マンとして頑張っていきたい」と話していました。

講演後には、「未来につなげる農業のために、われわれは何をすべきか」をテーマに、三分科会（米・畑・酪畜）と二分散会（食と農についての消費者交流）が行なわれ全道の青年部員から各地域の現状をふまえた、さまざまな意見が出されました。

翌日は、全道六地区からの活動実績発表大会、「地上」フリースピーチ大会、本大会が行なわれました。



全道から参加した盟友、会場は超満員

# 手際良く豆つめられる

婦人部豆の共同購入



数々の狂いもゆるぎない計量と作業も慎重です

毎年行なわれる、婦人部豆の共同購入の袋づめ作業を十二月八日に、農協事務所で行ないました。今年、豆の値段も安くなり、待ちかねていた方々の購入希望を



品種ごとに袋づめされた沢山の豆、豆、豆

受けて、さっそく作業にとりかかりました。七種類の豆を一器ずつ丁寧に計り、袋につめていく流れ作業ですが、なかなか大変な作業を、婦人部の方々が手際良く進め、袋づめは無事終了しました。その後、豆の引き渡しを行ない、キレイに袋づめされた豆は、各家庭に持ち帰られました。

## 親子 楽しく餅つき会

調子を合わせ  
べったんべったん

協和へき地保育所

中標津協和へき地保育所では、十二月九日、母の会主催によるもちつき大会とクリスマス会が行なわれ、園児二十人のほか、お父



小さな手に大きなもち、上手にまるめられるかな

さん、お母さんが参加し楽しい一日を過ごしました。もちつきは、園児三人ずつがそれぞれ特製の杵で、一、二、三と先生のかげ声に合わせて、べったんべったんと、この日十穀のおもちをつき上げました。出来上がったおもちは、お母さんたちに手伝ってもらい、あんもちやきな粉もちに作ってもらい、午後からのクリスマス会でおいしくいただきました。



もう少しでおいしいもちの出来上がり、がんばってつきましょ

根釧合同JA女性  
婦人部  
研修会



分科会では、真剣な討議が進められました

JA女性・婦人部



# 女性のパワーアップ作戦

「夢のある設計」と題して、十勝農業試験場の主任専門技術員・片山寿美子氏より、農村女性の現状や役割、労働報酬についてなどが語られ、「自分自身の人生をもっと前向きに」という講演内容から、分科会へと続き各グループに分かれて「どのようになれば、楽しく心豊かに生活できるか」と自分達の生活を見つめ直しながら、討議されて

平成六年度根釧合同JA女性、婦人部研修会が十一月二十八日、二十九日に中標津町トヨーグランドホテルで開催されました。根室、釧路管内から約二百人の婦人が集まり、当婦人部からも二十人が参加いたしました。今回の研修会は、「女性のパワーアップ作戦」というテーマにもとづいた、講演や分科会が開かれました。

二日目のシンポジウムでは、九人のパネリストとともに、今後、目標とする農村女性像について話し合い、なかでも、男性のパネリストからの意見はとても参考になり、これからの女性に対する意識が変わってきたということを実感し、二日間の研修を終了しました。

## 110番のかけ方



早く、正しく、正確に

一〇〇番の正しい利用

一〇番は事件・事故があつたとき、急いで警察に知らせるときに使うための電話で、皆さんと警察を結ぶホットラインです。

去年一年間の一一〇番件数は、全道で約二十三万件ありましたが、このうちの四分の一が間違いや、いたずらとか、緊急性のない要望・苦情などの電話です。中標津町内においても同じような傾向にあります。このため、本当に急いでいる人に大変な迷惑がかかっているのです。

警察では、一月十日を「一一〇番の日」と定め、一一〇番の正しい利用についてお知らせしています。



## 地区別懇談会開催される



各地区で説明を行なう組合長、参事、各部長

# 資材価格 引き下げ努力を



毎年秋に実施しております地区別懇談会を、今年は約一カ月遅れで十一月三十日から十二月二日にかけて開催致しました。  
今年夏は夏の猛暑、先日の北海道東方沖地震による生乳生産への影響、乳質への影響など懸念のなか懇談会に臨みました。

例年七地区で開催しておりましたが、先の地震で当幌会館が使用不能となり、中標津、当幌が合同による開催になり、出席された組合員は七地区で七十九人となりました。  
組合長の開催挨拶のなか先の地震のお見舞いの言葉の後、議題に

もとずき、農協事業の概況、クミカン、最近の酪農情勢、畑作情勢、澱粉工場操業状況、生産資材の情勢、なかしべつフーズの状況、乳製品工場の設立経過などについて、それぞれ報告いたしました。

各地区の主な意見は、農畜産物価格の低迷、生乳生産の伸び悩みのなか健全経営を維持するのが難しい環境にある、生産資材、特に肥料、飼料、農薬などの価格引き下げ努力を、との強い要望を受けました。生乳関係では、下期の生産計画に対し達成見通しについて、乳質乳価買いの精算状況についてなどの意見、質問が多く出されました。また、なかしべつフーズの問題、乳製品工場にも建設的な意見を戴きました。農協合併問題については、組合長が各地区で状況説明をいたしました。

今回の懇談会の経過については次回の理事会に報告し、今後の運営に反映されることとなります。建設的なご意見、ご提案ありがとうございました。



## 職員紹介



営農部家畜改良課人工授精係

鷲見 純

十二月から、営農部家畜改良課に臨時で勤務しております鷲見純です。昨年の春、山梨学院大学を卒業後、将来について迷っていましたが、子供の頃から携わってきた酪農で人工授精に興味を持ち、人工授精師になろうと決心しました。

これから人工授精師として勤務することができ、期待に胸をふくらませていますが、知識も技術も未熟で酪農家の皆様、家畜改良課、数多くの方々にご迷惑をおかけしますが、一日一日の経験を大事にし、家畜の改良増殖を志していきます。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



飲んで、食べて、歌ってと楽しく交流が行なわれました。

## フィアンセを求めて 独身者クリスマス交流会

青年部独身者委員会企画による交流会「クリスマスパーティー」が12月3日、スナックシャカを会場に開催されました。

当日は、青年部員14人と女性9人が参加、女性の中には町内を始め別海、標茶からの参加もありました。会は、上ヶ島委員長のメリークリスマスの乾杯でスタート。その後、特大のクリスマスケーキが配られ、タバスコビール早飲み、イントロ当て、ピンゴゲームなどが楽しく行なわれ、延長、延長の深夜12時まで交流が続きしました。



タバスコビールは利きます後でカーッと燃えるのです

# フ オ ト ア ル ズ ム



田中先生のやさしい指導で進められました

## 花を飾って 生活にうるおいを

婦人部華道教室

今年も婦人部では、華道教室を開催し、12月2日から計3回の教室を実施しました。

末生流の田中吉子先生を招いて、フラワーアレンジメント、クリスマスリース、そして最終日は、お正月の花を使って生け花にもチャレンジしました。

今年は、和風生け花から西欧風のアレンジまで、幅広く挑戦してみました。年末恒例の教室なので、参加の皆さんの腕も上達してきたようです。キレイに生けられた花は、家に持ち帰られ、生活にうるおいを与えている事でしょう。



毎回なごやかな雰囲気教室が開かれました



アイデアを出しあって、キレイな作品を作りました

## 身近なものを 使って作品を

婦人部押し花教室

12月5日に農協中会議室で、婦人部押し花を使った作品づくり教室を開催しました。

去年も行ない、大変好評に終わったこの押し花教室ですが、今年は、「身近なものを使って、お金をかけずに」という事で、自然の野花を自分達で押し花にしたものを使って、のし袋や壁かざりなどを作ってみました。約2時間の教室では、西武佐の中條さんからのアドバイスを受けながら、好みの花を使って、キレイな作品をどんどん仕上げておりました。



細かい作業なので真剣です

## 管内で 堂々の優勝

根室地区JA青年部  
スポーツ交流会



狙いを定め慎重に  
ストライクはこのライク



見事、優勝を喜ぶ長縄さん、清原さん、山下さんのJA中標津青年部

根室管内青年部の交流、親睦をはかり、今後の農協青年部事業の活性化を目指す、根室地区JA青年部ボーリング交流会が、12月12日ウコウボールで開催されました。

交流会には管内から5単組17チーム、51人が参加。団体戦、個人3ゲーム、チーム9ゲームのトータルで勝敗が競われました。JA中標津青年部は、3チーム9人が参加し、管内の強豪相手にみごとAチームがトータル1,542点と、2位西春別に154ピンの大差を付けみごと優勝を飾りました。

# 12月の 組合日誌

- 1日 営農計画書作成(22日まで)
- 2日 婦人部華道教室
- 3日 てん菜振興会役員会
- 5日 婦人部押し花教室
- 8日 馬鈴しょ振興会役員会
- 9日 第4回管理購買委員会
- 13日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 16日 第7回営農委員会
- 17日 農協酪農対策協議会役員会
- 26日 第12回理事会
- 30日 御用納め

## 編集後記

あけましておめでとうございます。平成7年の新春をご家族お揃いでお過ごしのことと思います。

昨年は夏の猛暑、秋の長雨、東方沖地震など大きな自然の力に振りまわされた様な気がします。

今年はいったいどんな年になるのでしょうか、不安がいっぱいですが、毎年、毎年今年こそはという気持ちだけは失いたくないものです。

農協だよりも、皆様に気楽に読んでもらえ、楽しんでいただける様な広報紙作りに、今年こそはと取り組んでまいりますので宜しくお願いいたします。

## JAグループのテレビ番組 (厚生省中央児童福祉審議会推薦)

# くらしの探検隊



1月7日(土)	東野英心 「牛の目ってやさしいね」 (福井県・武生市)	市内の全小学校3、4年生を対象に、毎年行なわれるJAたけふの「こども農業学習会」。これまで、延べ5,000人を超える子どもたちが参加しました。実際に見て、触れて、子どもたちの目から見た農業JAを探検。
1月14日(土)	和泉雅子 「アイガモは草とり名人」 (岐阜県・大垣市)	最近、無農薬・有機栽培の米づくりにアイガモが注目を集めています。アイガモに水田雑草を食べさせる方法で、重労働の除草作業が軽減できるとあって農家にも大好評。このユニークで安全な新しい稲作を訪ねます。
1月21日(土)	東野英心 「お米の“美”に魅せられて…」 (東京都・新宿区他)	ピンクを基調にしたブティック風の店内、リボンつきの包装—うまいお米へのこだわりから、つぎつきと米穀店の常識を変えてきた「シャリジェンヌ三島屋」。都心でがんばるお米屋さん、日本の農家の応援団です。

北海道放送(土) 9:30 提供 ● JAグループ / 制作 ■ 家の光協会

## (有)ファム・エイ酪農ヘルパー中標津地区担当

新年あけましておめでとうございます。

今年も皆様のご要望に応えるよう頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。



後方左から北山、尾崎、前方左から荒木田、大田